

糸田町は人口約 8,300 人、面積約 8k m²で、「福岡県で 2 番目に小さい町」と呼ばれており、自然に彩られたのどかな風景を眺めていると心地よい気分になります。また、ここは古くから豊穡な耕地と豊富な湧水に恵まれ、弥生時代から稲作文化の先進地として栄えてきた自然の恵み豊かな町でもあります。

有名な俳人・種田山頭火が「心友」とまで称したのは、当時糸田町に住んでいた医者・木村緑平。二人の交流の中で出来た多くの詩が、句碑として町内各地に点在しています。

さらに、平成 31 年 1 月に町施行 80 周年を迎えた糸田町。この機を新しい町の幕開けとしてとらえ、元気と活力のある町づくりに励んでいます。

[田植祭]



毎年 3 月 15 日に春の農業の出発を祝い、その年の豊作を祈ります。この祭りでは、まず神官が五穀豊穡の祝詞を奏上し、その後しばらく直会があり、模擬農耕行事に移ります。田植えまでの演技は、草刈り、溝さらい、畦塗り、身持ち女の屋もち、牛を使っての代掻きの順で行われます。その後、小学生による田植舞が奉納され、最後に田植えが行われます。

この祭りを行う田植保存会は、町指定文化財第 3 号に認定されています。また、平成 29 年には県から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」にも選択されました。

[糸田祇園山笠]



各地区が高さ最大 9m、重さ 2 トン以上の飾り山笠を担ぎ、町内を練り歩く勇壮な祭りで、300 年以上続く伝統行事です。昼間はそれぞれの地元を練り歩き、夕暮れとともに主会場のフェスティバルパークへ集結します。クライマックスに向けて提灯や電飾で彩られた舁き山、曳山が集う瞬間は、盛り上がりが高潮に達します。

平成 28 年度には、全国各地で開催される地域の活力を生み出すイベントを表彰する「ふるさとイベント大賞」において優秀賞を受賞しました。

[金山サクラ・アジサイ園]



3 月～4 月上旬にかけては、約 700 本のサクラが辺り一面に咲き乱れます。また、6 月～7 月頃には、赤、青、水色、紫などの彩り豊かな 15 種類、約 7,000 本のアジサイが咲き誇る観光名所です。毎年、県内外からも多くの来園者があり、老若男女から愛されています。園内には散策しやすいように椅子やテーブルが設置されており、入場料も無料です。園の奥にある展望台からは、田川盆地を一望できます。



問い合わせ先：糸田町役場地域振興課 0947-26-4025